産業建設常任委員会会議録

- 1 開会日時 令和6年6月20日（木）午前10時0分
- 2 閉会日時 令和6年6月20日（木）午前11時38分
- 3 会議場所 委員会室
- 4 出席委員
7番 保田 守君 9番 治徳 義明君 11番 金谷 文則君
13番 福木 京子君 14番 佐藤 武文君
- 5 欠席委員
なし
- 6 説明のために出席した者
市長 友實 武則君 産業振興部長 是松 誠君
建設事業部長 桐谷 文昭君 赤坂支所長 小坂 憲広君
熊山支所長 稲生真由美君 吉井支所長 中務 浩行君
産業振興部参与兼 大崎 文裕君 総合政策部参与兼 岡本 和典君
商工観光課長 農林課長 岡田 浩司君 建設課長 福圓 章浩君
上下水道課長 金島 正樹君 地域整備推進室長 森本 祐司君
農林課参事兼 三田 義雄君 赤坂支所 金延 祥二君
地域整備推進室参事兼 建設課参事 産業建設課長
熊山支所 砂子 武久君 吉井支所 谷 宣道君
産業建設課長
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 原田 光治君 主 幹 青木 智彦君
- 8 審査又は調査事件について
 - 1) 議第34号 赤磐市吉井竜天オートキャンプ場条例の一部を改正する条例
 - 2) 議第35号 地方自治法改正に伴う関係条例の整理に関する条例
 - 3) 請願第1号 大型商業施設コストコの出店に係る地域密着型商業者への影響回避についての請願
 - 4) その他
 - ・令和6年度事業の補正について
 - ・事業の進捗状況について
 - ・その他

午前10時0分 開会

○委員長（金谷文則君） ただいまから産業建設常任委員会を開会いたします。

会議の短縮に心がけたいと思いますので、執行部の説明及び委員の質疑につきましては、簡潔明瞭をお願いいたします。

初めに、友實市長より御挨拶をお願いいたします。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 本日は、御多忙の中、産業建設常任委員会をお開きいただきまして、誠にありがとうございます。

本日御審査いただく案件でございますけども、6月の定例会に上程させていただいております条例案件2件、これについて御審査をお願いするようになります。適切に審査いただき、適切な御決定をいただくようお願いを申し上げまして、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

それでは、これから委員会の審査に入ります。

当委員会に付託されました案件は、議第34号赤磐市吉井竜天オートキャンプ場条例の一部を改正する条例から請願第1号大型商業施設コストコの出店に係る地域密着型事業者への影響回避についての請願までの3件であります。

それでは、議案の審査に入ります。

議第34号赤磐市吉井竜天オートキャンプ場条例の一部を改正する条例を議題とし、これから審査を行います。

執行部からの補足説明がございましたらお願いいたします。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎産業振興部参与。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） それでは、議第34号赤磐市吉井竜天オートキャンプ場条例の一部を改正する条例につきましては、議場で説明のとおりでございます。補足説明はございません。

以上です。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

執行部からの説明が終わりました。

これから質疑を受けたいと思います。

質疑はございませんか。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 指定管理をされることについては、今の時代の流れの中で好ましいやり方かなとは思いますが、指定管理をすることによって、赤磐市の主体性というものが失われて、指定管理者が全てのを運営していかれるような考え方、やり方、要するに主体性が市から外れてしまうのではないかと私は危惧を持っております。

このことについては、一般質問でも取り上げさせていただいて、教育委員会のほうで教育長が指定管理者と相談をして云々というようなことを答弁されたというようなことの中で、指定管理をすることによって全てを指定管理に任せてしまうという考え方、やり方をされておられるのではないかなと。いや、それでは、市としての主体性というものが全く失われてしまって、市民からのいろいろな要望等々について応えることができなくなるのではないかなという、私はそういう危惧をしておりますけど、そういうことについて地元の担当課長としてどのような考え方を持っておられるか、担当課長の意見をお伺いしたいと思います。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○吉井支所産業建設課長（谷 宣道君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 谷吉井支所産業建設課長。

○吉井支所産業建設課長（谷 宣道君） 指定管理を行うことによってですが、現在も運営等につきましては、地元の区とか区民の方と相談しながらいろんなものを取り入れていっております。今後につきましても、市と、指定管理が行われるようになりましたら、協議をしながら、地元も含めてよりよい施設になっていければと思っております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 分かりました。課長の考え方はよく理解いたしましたけど、行政としてその主体性が失われるようなことが私はあってはならないというふうに思いますが、そのことについて再度執行部のほうから御答弁をいただきたいと思っております。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎産業振興部参与。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） 先ほど担当課長も申し上げましたとおり、これからこの議案が可決されれば指定管理となるわけですが、指定管理者それから地元の方々などと一緒に考えながら指定管理のほうへ取り組んでいきたいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員、よろしいでしょうか。

○委員（佐藤武文君） はい、ありがとうございます。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

○副委員長（福木京子君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） このキャンプ場については、いろいろこれまでの経過で、いろいろ整備もされてきて、この間見に行きました。そしたら、きれいに整備もされ、職員の方も積極的な方がおられて、もう市が責任を持ってやっていると、なぜこの指定管理を考えていくんですか、今のままでもいいんじゃないかと思うんですけど。

それで、もう一つ言いますと、隣の和気町が三保高原スポーツ&リゾートの、りんご園のところ、ここを指定管理していたのを月末に撤退というような状況もあったりで、あそこのキャンプ場というのは隣の天文台とのセットで、赤磐市独自の力を入れてきた施設と思うんですけど、なぜ指定管理にせざるを得ないのか。

それからあと、その理由をお聞きしたいのと、本会議でも別の天文台のところで言いましたように、雇用、これが心配なんです。一応市の職員である方が今度は指定管理のほうになってくる可能性もあるんで、その辺の状況をもう少し詳しく説明ください。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎産業振興部参与。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） 福木副委員長の御質問、3点あったかと思えます。

市のほうで、今なぜ指定管理するのかというところ、まず1点目なんですが、竜天オートキャンプ場につきましては現在市が直接管理を行っておりますが、これを民間事業者の方に指定管理をしていただくというようなことで、民間のノウハウなんかを活用した維持管理、それから利用者へのさらなる利便性の向上、こういったものが見込まれるのではないかなというふうに考えております。

それから、雇用の関係ですが、現在のキャンプ場の雇用につきましては会計年度任用職員です。会計年度任用職員の制度につきましては、1会計年度、4月1日から翌3月31日までの間というようなことの任期で雇用をされている非常勤の職員となります。

指定管理となりますと、指定管理者が雇用の権限を持つこととなりますが、現場に精通しておられる方がほとんどですので、この方が引き続き雇用されるかどうかというのは確実ではありませんが、考慮していただくようお願いしていきたいというふうに考えております。

それから、3点目、和気町の関係だったと思います。

この前新聞報道がありまして、和気町につきましては、コロナの影響で県外の大学生のスポーツ合宿の落ち込みが要因で、指定管理を取りやめるといったような新聞報道だったと思います。

和気町とは、キャンプ場の利用形態というのが違っております。コロナの時期でも密を避けるというようなことと、それからキャンプのブームも手伝って、令和4年度につきましては1

万人ぐらい来場者がございました。それから、令和5年度につきましても、約9,000人と、コロナ前の施設利用者の数字に戻ってきているような状況でございます。この施設の内容が違っておりますので、和気町のようなことにはならないのではないかとこのように考えております。

以上です。

○副委員長（福木京子君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） 和気町の例を出したのは、厳しい中でやってるんですけど、責任を持って市が、赤磐市独自の隣の天文台ともセットのような状況があります。力を入れてこられてる。

それから、会計年度の方というても職員ですよ。これまで頑張ってきてるから何とかもって、さらにお客も来てるような状況もあると思うんですが、雇用については一旦やめて、そして次の方にはお願いはするけど確実にないというふうな答弁ですよ。だから、そういう雇用は、その人その人に権利というものもあると思うんで、そういう何年も熱心にされてるところをいきなり指定管理をしてやるというのはどうなんですか。

それで、財源、経費節減というふうな説明があったと思うんです。どのくらい見込んでますか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎産業振興部参与。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） 雇用の関係ですが、先ほども答弁いたしましたとおり、会計年度任用職員でございます。4月1日から3月31日まで、1会計年度ごとの雇用を続けていっておりますが、なかなか、先ほども答弁したとおり、現場に精通しておられる方が多いので、考慮していただくようこちらのほうからお願いをしていくというふうなことでございます。

それから経費節減につきましては、実際どれくらいというふうな見込みの数字っていうのは出ておりませんが、1万人程度の利用者があった場合、キャンプ場につきましては繰出金、繰入金というのがなく、黒字経営が見込まれるようなこととなります。この1万人を目指していきたいなというふうに考えております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいか。

福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） これまでも、だから、現場に精通して、いろんなことで努力して来てもらうようなことをやってこられてるわけだから、別にこれを指定管理する必要性はない

んじゃないですか。赤磐市の特徴を生かして、ここはある程度力を入れてやってるというような、そういう状況をつくりゃいいんじゃないんですか。何でも指定管理の方向にやるということはどうかと思うんです。何年か前にも、ここも何かそういう指定管理の話がちょっとあったというふうに私も聞いてるんですが、そのときはそれがなくなって、今来ると、今度は2回目にこういうふうな話になってきてるんじゃないかと思うんですが、熱心にされてるのになぜ指定管理にするかという理由をもう少し説明願いたいと思うんです。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎産業振興部参与。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） 竜天オートキャンプ場の管理、市が直接行っているわけですが、利用者のさらなる利便性の向上、それからいろいろ利用者のほうもニーズが多様化しております。こういったニーズに効率的に対応していただける民間事業者のノウハウ、こういったものを取り入れて、よりよい施設、それから施設の有効活用が図れるように考えております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） ノウハウといいますが、これまで何年もされてて、そういうものを引き継いでやられてるんで、結構その利用も増えてきてるし、何かそういうこの努力というのをどう見とんですか。それで、なぜ和気町のことを出したかといいますと、こういう一旦指定管理にしていっても、景気が悪くなったりいろいろ何かあれば、また撤退して町が直営でというような状況も周りにはあると。だから、赤磐市は、独特なそういう天文台が隣にあって、キャンプ場で唯一あって、いいところがあるというようなことを前面に出してまちづくりしたらいいんじゃないんか。それを指定管理のほうに出すというのは。

○委員長（金谷文則君） 質疑をお願いします。

○副委員長（福木京子君） はい。その辺をもう少し理解できるように話してください。今の説明では全然理解できません。

○委員長（金谷文則君） 同じ答えの繰り返しなら同じかもしれませんが、今の福木副委員長からの質疑に対してお答えをお願いいたします。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 福木副委員長の雇用に関する御心配なところ、我々もそこは理解します。しかしながら、この指定管理の制度につきましては、事業運営者側、いわゆる雇用をする側の形態、考え方の制度でありまして、雇用される側、従業者の側の問題につきまし

ては、これは指定管理とは離れたところでの整理が必要というふうに考えております。

先ほど参与から説明しておりますが、指定管理、これは指定管理者も十分に市のほうで審査して、市の条例に基づき、市の考えに従って指定管理をしていただける事業者、こちらを指定していく予定にしておりますので、市が主体性を持って今後も施設を管理するという考え方は変わっておりません。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） 福木副委員長、よろしいでしょうか。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 私は、指定管理は妥当な判断だろうとは思ってますが、その上で指定管理された場合の権限の範囲を確認させていただきたいんですけども、本会議場で料金の改定につきましては質疑がありましたので結構なんですけども、非常に指定管理者が厳しい状況があったときに、ネーミングライツなんかは可能なんでしょうか、指定管理者で。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎産業振興部参与。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） ネーミングライツというようなところまでは現在想定はしておりませんが、今後検討していくべき課題かなというふうに思っております。

以上です。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） それは、指定管理者単独では可能ではないということですか、市と相談してみたいな話になるんですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 友實市長。

○市長（友實武則君） ネーミングライツですけど、これは基本的には指定管理の物件であっても、赤磐市がネーミングライツを公募して、該当する企業があればそこに、年間の契約もしくは複数年契約になるんですけど、そのあたりは市が主体に行うということになるかと思っております。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（治徳義明君） 結構です。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんでしょうか。

○委員（保田 守君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 保田委員。

○委員（保田 守君） 当たり前のことを聞くんですけど、管理料、管理していくには市が見て、当然見ていく、浄化槽の管理とかいろんなもんがあると思うんですけど、突発的なことが、台風とかいろんなことで修理とかいうことが起きると思うんですけど、そういうものの修理代とか、そういうものは一度赤磐市が立て替えて、立て替えるというんか、赤磐市が当然直すということになるんでしょうか。指定管理者は、軽微な修理なら、雨漏りとか水道の修理とか当然あると思うんです。そういうのはどういうふうな決まりになつとんかなと思って聞きたいんですけど。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎産業振興部参与。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） 指定管理者も決まっておりませんので、まだそういった細部については決定しておりませんが、市の所有の建物でございますので、大きいところ、小さいところ、それぞれの、市と指定管理者と分けて、修繕とか、そういうようなことに対応していくようになるというふうに考えております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

保田委員。

○委員（保田 守君） そういう部分でよく行き違いがあつてトラブルが起きるんで、きちつと間違いがないように契約の段階で決めてほしいと思います。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（保田 守君） 答弁をお願いします。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎産業振興部参与。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） 今後、この条例が決まりましたら、当然指定管理者を募集していくような手続を取るようになると思うんですが、指定管理者が決まりましたら、そういった詳細なところ、協議書なんかで定めていくようなことになろうかと思ひます。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

他にございませんでしょうか。

福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） もう一回確認なんです、経費の縮減のことを言われなかったんですが、1万人程度利用したら繰出金もなくなって黒字経営というふうなことを見込んどるといんですが、これがいろんなことがあって以下になったり、そういうふうな状況になった場合にはどうするんですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎産業振興部参与。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） そういったところを目指して指定管理者の方には取り組んでいただきたいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） それは、要望する場合にそうでしょうけど、市の見通しというんですか、今後の。

○委員長（金谷文則君） どういうふうにするか、要は1万人来ずに赤字が出たときにはどうするのかという意味合いの質疑だと思いますので、それについてのお答えをしてあげてください。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎産業振興部参与。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） そういったところも、今後指定管理者が決まりましたら、協議書によって決定されていくものというふうに考えております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

他にございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、確認をしときたいと思うんですが、これが決まりましたということで、指定管理をすると、こういうことになった場合に、これから指定管理者を募集というようなことが出てくるかと思えます。指定管理者の募集をして、スムーズに指定管理者が決まればいいですが、決まらなかった場合、これを今の雇用も含めて利用、その他についてはどういうふうにやっていくのか、運営をしていくのか、その予算取りはどうするのかというようなこと、それからこの公布日、これは条例の公布日から施行ということになっておりますので、その公布する日程、スケジュール、どのようにお考えなのかをお答えいただきたいと思えます。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎産業振興部参与。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） 決まりましたら、早急に指定管理の手続を進めていって、この産業建設常任委員会であるとか議会であるとかに諮ってまいりたいと思います。それから、決まらなかった場合なんです、当然市のほうで維持管理は継続していくというようなことになろうかと思えます。

予算取りとかの関係につきましても、指定管理の進み具合によって多少変わってくると思います。決定すれば指定管理料などになろうかと思えますし、それから決定がなければ市の特別会計からの支出というようなことになろうかと思えます。

以上です。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

インターバルの問題だと思うんで、予算をつけてないのに執行をする、これは市長のほうで専決というようなことの対応をされるんだろうと思うんですが、議会が開かれるのがスパンが決まっておりますので、もし指定管理者を募集して決めていくというのも、専決前提のそのものの選択というような形じゃなくて、しっかり議会の中で議論をしてやっていけるところの時間を計ってお願いしたい。これは、要望というわけじゃなくて、そういう格好でのことはお考えになってらっしゃるかどうか、最後にお聞きしたいと思います。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 御指摘のとおり、これは条例改正で可決後、公布をさせていただき予定しております。その後、指定管理者の募集の事務に入ります。指定管理の時期につきましては、委員長御発言のとおり、予算の区切り、年度の区切りというものがあると思います。そういうところを見据えながら、きちっと説明をしながら進めていきたいと考えております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

他はよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、ないようでございますので、議第34号についての質疑はこれで終了したいと思います。

続きまして、議第35号地方自治法改正に伴う関係条例の整理に関する条例を議題とし、これから審査を行います。

執行部から補足の説明がございましたらお願いいたします。

○上下水道課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 金島上下水道課長。

○上下水道課長（金島正樹君） 議第35号地方自治法改正に伴う関係条例の整理に関する条例

については、本会議場での説明のとおりで、補足説明はございません。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

それでは、執行部の説明が終わりましたので、これから質疑を受けたいと思います。

質疑はございませんでしょうか。

○副委員長（福木京子君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） 本会議でされてるんですが、簡単に関係条例の整理ということでここで述べていただきたいと思うんですが。

○委員長（金谷文則君） 再度説明ですか。

○副委員長（福木京子君） はい。

○委員長（金谷文則君） 再度説明については、当初申し上げたように時間短縮ということを中心にけるということで、一回説明されたんであればその辺のところは納得をしていただきたいと思いますが、まだ時間的な余裕がございますので、簡単に説明をお願いしたいと思います。

○上下水道課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 金島上下水道課長。

○上下水道課長（金島正樹君） 今回の条例改正でございますが、地方自治法が改正されたことに伴い、赤磐市水道事業の設置等に関する条例及び赤磐市下水道事業の設置等に関する条例の引用条項を改正するものでございます。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

福木副委員長、よろしいでしょうか。

○副委員長（福木京子君） はい。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようでございますので、以上で質疑は終了したいと思います。

それでは、早速採決に入らせていただきたいと思います。

ただいまから本委員会に付託されました議第34号赤磐市吉井竜天オートキャンプ場条例の一部を改正する条例及び議第35号地方自治法改正に伴う関係条例の整理に関する条例について採決をいたします。

まず、議第34号赤磐市吉井竜天オートキャンプ場条例の一部を改正する条例について、これを原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（金谷文則君） 起立多数であります。したがって、議第34号は原案のとおり可

決すべきものと決しました。

続きまして、議第35号地方自治法改正に伴う関係条例の整理に関する条例について、これを原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（金谷文則君） 起立全員であります。したがいまして、議第35号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、請願の審査に入ります。

請願第1号大型商業施設コストコの出店に係る地域密着型商業者への影響回避についての請願を議題とし、審査をいたします。

資料につきましては、タブレットの中に入っております産業建設常任委員会のフォルダー、令和6年6月に入れておりますので、確認のほどお願いいたします。

この請願の紹介議員から説明を求めるかどうかを諮りたいと思いますが、いかがでございましょうか。説明を求めることに賛成の方は起立をお願いしたいと思います。

〔賛成者起立〕

○委員長（金谷文則君） 起立2人ということでございますので、説明を求めるという意思がございましたので、どういたしましょうか。

○委員（治徳義明君） いらっしゃったんなら。

○委員長（金谷文則君） よろしいですか、半数、多数というわけではございませんが、それで皆さんよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、紹介議員から説明をするということで、私委員長のほうが紹介議員ということでございますので、ここで福木副委員長に委員長席を交代したいと思います。

福木副委員長、よろしくお願いたします。

○副委員長（福木京子君） 分かりました。

〔委員長交代〕

○副委員長（福木京子君） それでは、金谷委員長に説明を求めたいと思います。よろしくお願いたします。

○委員長（金谷文則君） それでは、請願について説明をさせていただきます。

この請願につきましては、お手元にお配りをしてありますとおり、岡山県石油商業組合赤磐支部からの紹介ということで、支部長以下、赤磐市内で業をされてる皆さんからの賛同を得ての請願となっております。

この請願は、大型商業施設コストコの出店に係るということで、初めて市議会の中でも、いろんなうわさは皆さんが耳にしておられるんですが、一切この議論はされてない、議場の中で

は委員会の中でも議論をされてない言葉が初めて出ておりますので、これが果たしてこのままでいいのかどうかという問題もありますが、請願の内容につきましては、大型商業施設が赤磐市に出てくる場合に心配されることがありますと、そのことについて赤磐市議会の委員会、産業建設常任委員会並びに赤磐市議会の中で十分検討していただいて、地元密着型の業者のほうに負担なり、心配なり、そういうものがかからないような施策をつくってほしいと、進めてほしいというのが趣旨でございます。

その中に個々のことが書いてありますが、この紹介議員としても一番心配なことというのは、まず先ほど申し上げましたように、ここの1番に、産業振興・賑わいゾーンの中に大型商業施設コストコ・ホールセールの出店があるように地区にうわさがたくさん流れております。しかしながら、この現場、産業建設常任委員会の中では何も出てきておりませんので、私は紹介議員として出ておりますが、皆さん方にそのことについて、事実でないことをここで議論をしていくということにはならないかと思っておりますので、ここにいる委員の皆さん方がそういううわさなり話を聞いているのかどうかという確認をしてもらった後に、この請願についての十分審査をしていただいて進めていただきたいというのを副委員長のほうにお願いをしながら説明とさせていただきたいと思っております。

それで、もう一つ、同じような形で確認をしてもらいたい、そして進めていただきたい内容としては、企業誘致としてという文言をこの石油商業組合の方が使ってこられております。企業誘致というのは、市としてそれからこの委員会等の中では全く取り扱ってないことでございます。しかし、そのような形のものが使われてることについて、問題があるかどうかというのも十分協議していただきたいんですが、この請願者については企業誘致というふうに認識をしているというふうにここに書いてありますので、それは認識をお願いしたいと思います。

それから、地域密着型の業者が不安な思いをしていると、雇用や時間給、このことについてもこの中に触れておられまして、実際私のほうも調べてみたら、かなりの時給があるという、今回の場合は例として挙げられてるものについてはあります。だから、その時給の差とかそういうもんが問題なければ、何の問題もないだろうというふうに思って、私もこれには賛成をしておいて、紹介議員としてここに上げております。

それからまた、地域密着型の店に関しては、経営者とか従業員が赤磐市の市民であるという文言もこの中にあります。そういうことの実事として我々が認識しているのかどうか。我々は赤磐市民の仕事をやっておりますので、よその方がやられておられるとか働いておられるのであればここで議論する必要はないかとは思いますが、大方は地元密着型で地元の方、赤磐市民というふうに認識をしておりますので、ここで紹介をしております。

また、石油商業組合が、自分たちはこういう仕事をしているということで、この中に書いておられます。農業施設への油の提供とか個々の住居に対しての暖房用の灯油等の販売も個々に細かく回っておられると。こういうことは地元密着型じゃないとできないという趣旨の

請願でございます。

それから最後に、もうこの一番おしまいにあるんですが、要はここに書いてる、ますます少子高齢化、場所によっては過疎化の進む赤磐市において、より安心・安全な住みよいまちをつくっていくためにも、我々地元密着業者を休業や廃業、倒産に追い込むようなことのないよう、十分配慮した施策を実行するよう赤磐市長に対して赤磐市議会から申し入れてほしいと、こういう趣旨でございます。紹介議員として私は、もっともなことだと思ひ、ここに皆さんに審査いただくよう請願の紹介議員として提案をさせていただいております。

以上でございます。

○副委員長（福木京子君） 委員長のほうからの説明がありました。

説明を受けて、質疑のある方はお願いしたいと思いますが。

○委員（佐藤武文君） 副委員長。

○副委員長（福木京子君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 今日初めてコストコという商業名を、議会の中でですけど、耳にしたような状況なんです。今まで、我々まちづくり調査特別委員会においても、この業者名についてはいまだかつて一回も執行部のほうから提案をされたこともないし、我々議員としても聞いたことも実はなかったんです。しかしながら、私は、大変多くの市民の方々からコストコが来るんじゃないかってという話は聞かされておりました。

(127字削除) しかしながら、我々議会の中にコストコのコの字も、そういうふうな商業施設名が出てきたことはないんです。

そういうことの中で、今ここで請願が出ていることに対して、仮定の話、来るか来んか分からんような施設に対して我々が議論するというのが、これが正しいのか正しくないのか、自問自答を現在はおしてあります。

しかしながら、もしこれが実現するというふうなことになったら、先ほど紹介議員の金谷委員長が言われておられたように、これは死活問題に関わる問題に発展をするというようなことに恐らくなるのではないかなというふうに思います。

しかしながら、今私は、そういうようなコストコが赤磐市に来られるか来られないかということに対して疑問を感じておりますので、このことについてなかなか個人的な意見として難しいというような見解を持っておるといような状況でございます。

しかしながら、先ほども申しましたように、死活問題に関わる問題が発生するということは、議員の一人としてそれを見過ごすということはできません。そういうことの中で、そのことについては私は大きな問題として捉えて、賛同をさせていただきたいというふうに思います。

○委員（保田 守君） 副委員長。

○副委員長（福木京子君） 保田委員。

○委員（保田 守君） 私は、コストコが、うわさでは聞いていたんですけど、来るということには大賛成です。

それで、今回ここへ出されておる請願の内容を読ませていただいとんですけど、ネガティブなことが最初から最後まで書かれております。それは、自分たちの生活を守るんだから物すごく心配だとは思いますが、大型店が来るから小型が潰れるようなことを決めて設定するような内容になってますんで、我々の業種でも大型、大手にはもう50年来対決してきました。そんな中で、我々は小型でしかできない分野を探して、大手の特徴があるところがあれば小型は小型で特徴があって、十分闘えるという、そういう闘いを今までしてきました。この石油業者の人たちがコストコが来るから考え方を物すごくポジティブにして、自分たちがこんなことをしたい、こういうことをやっていくから補助してくれという内容なら分かるんですけど、この内容じゃったら私は賛成できません。

そして……。

○副委員長（福木京子君） すみません。今意見をもう言ったださつとんですけど、一応質疑をお願いするところなんで、質疑のほうでお願いしたいと思います。

○委員（保田 守君） いろんな業者が来て、私は自由な競争をして、私自身は市民自身に利があることが起きればいいと思うんです。自由に競争していただいて、少しでも油が安い価格で手に入るとか、そういうふうな競争をしてほしいと思うとんで、この請願には賛成できかねます。

○副委員長（福木京子君） 質疑はよろしいか。

治徳委員。

○委員（治徳義明君） 説明の中で、企業誘致だとかコストコのピンポイントのことなんかはどうなるかみたいな説明もありましたけれども、一応受理をされてますので、その中で私は真剣にこの課題を考えさせていただいて、賛否については後から聞いていただけますか。

○副委員長（福木京子君） はい、分かりました。

○委員（治徳義明君） 賛否については後から申します。

○副委員長（福木京子君） 他に質疑のほうはよろしいですか、大分意見に近いほうを言われたんですが。質疑がありましたら。

○委員（佐藤武文君） 副委員長。

○副委員長（福木京子君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 私は、先ほどコストコが来る来ないについては仮定の話というようなことを表現させていただいたんです。このことがはっきりしない限りは、私はなかなか議論ができないんじゃないかなと。そのことについて、ここで市長にその答弁は求めませんが、ど

こかの時点でそういうことについて、議会のほうに詳細について詳しく執行部のほうから私は説明をしていただきたいと。

請願のこの内容については、私は趣旨については賛同しておりますので、コストコが来る来ないの問題については、これは大きな問題なんで、この問題について、私は議会の中できちっと整理をしていただきたいということを要望させていただきたいと思います。

○市長（友實武則君） 副委員長、よろしいですか。

○副委員長（福木京子君） ちょっと待ってください。

○委員長（金谷文則君） それは違うでしょう。

○副委員長（福木京子君） 一応議員の、今紹介議員に対する質疑をしてるんですけど、一応皆さんに諮らせてもろうて、今何か市長が手を挙げておられるんですけど、どんなんでしょうか。

○委員（保田 守君） 聞いてください。

○副委員長（福木京子君） よろしいですか。

○委員（保田 守君） うん。

○委員（佐藤武文君） いや、市長が答える筋合いではない。

○副委員長（福木京子君） ではないからね。だから、一応、何でしょうか。

○市長（友實武則君） いや、質問とか答えではありません。

○委員（佐藤武文君） 市長が答える問題じゃない。

○市長（友實武則君） 答弁ではありません。答弁じゃありません。

○副委員長（福木京子君） 今、すみません、一応請願に対して議員が質疑をしてるところなんで、市長の……。

○市長（友實武則君） そのことについてお願いがあって手を挙げたんですけど。

○副委員長（福木京子君） どんなんでしょうか。一応、議員で質疑をして議論してるということなんで。

○委員（佐藤武文君） 別のとこで答えるなら答えてもらやあええけど、今ここの……。

○市長（友實武則君） いや、答えじゃありません。

○副委員長（福木京子君） そういう委員の意見があるんで、一応遠慮させていただき……。

○委員長（金谷文則君） ちょっと止めたら。

○副委員長（福木京子君） ちょっと休憩をいたします。

午前10時48分 休憩

午前10時49分 再開

○副委員長（福木京子君） 再開をいたします。

質疑はございますか。

一応紹介議員に対して今は質疑がありますかということではしております。

○委員（佐藤武文君） 副委員長。

○副委員長（福木京子君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 私は、その紹介議員に対して、コストコが来る来ないについての仮定の話の中で議論がなかなか難しいのではないかと。その中で、コストコが赤磐市のほうに参入してこられるかどうかについて確認をされておられるんですかということを紹介議員のほうにお伺いをさせていただいたんですけど。

○副委員長（福木京子君） 答弁をお願いします。

○委員長（金谷文則君） 副委員長。

○副委員長（福木京子君） 金谷委員長。

○委員長（金谷文則君） それでは、今佐藤委員が質疑で聞かれましたことなんですが、そのコストコというのが来るということについては、一切私どもも確認はしておりません。委員会の中でも議会の中でも、一切コストコというのはない。一番最初に私が申し上げたんですが、ここに取り上げていただく請願を出した折に、この文書の形のものが取り上げていただいとるということで、議論の対象にさせていただきたいというふうに思っております。

それから、私もコストコにお話をしたこともありませんが、ここの請願の中では、コストコの出店の話が多数報じられているという文言がこの請願の中にも書いてありまして、来るという事実、一切私のほうでも確認はしておらんのが事実でございます。

○副委員長（福木京子君） いいですか。

佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） ということは、コストコの出店に関しては、仮定の話ということになるというふうな判断をさせていただければよろしいのでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 副委員長。

○副委員長（福木京子君） 金谷委員長。

○委員長（金谷文則君） ここへ名前が入っておりますけども、頭にある大型商業施設の出店ということで、そういうふうな場合にはこういうことを十分考慮して施策をお願いしたいということで、うわさとして今こういうことがありますというのをここの文言の中に上げておられるということで、大型商業施設が来る場合には、十分市として考えてくださいというふうに捉えていただいて議論をしていただきたいというふうに思いますので、よろしく願いをいたします。

○副委員長（福木京子君） よろしいですか。

他に質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副委員長（福木京子君） なければこれで質疑を終わりにいたします。

ここで委員長を交代いたします。

[委員長交代]

○委員長（金谷文則君） どうもありがとうございます。ちょっとややこしい形になっておりまして、ここからは本来の委員会ということで、私のほうが委員長として進行をさせていただきたいと思います。

今提案説明がありました。それから、質疑もありました。その中を踏まえまして、それぞれの委員の皆さんに御意見をお伺いして、その後に、今回の件についての採決をしたいと思います。そういう形でよろしいでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（金谷文則君） それでは、順次委員の皆さんの御意見をお伺いしたいと思います。

佐藤委員のほうからじゃあ回っていただいて、最後に福木副委員長ということでよろしくお願ひします。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 非常に難しい判断に実はなるんです。先ほどから何回も申し上げておりますように、仮定の話の中で判断をしなければならないというようなことの中で、非常に私としてもどういうふうな返答がいいかちょっと迷っておるんですけど、ただその中でこの請願者の方が言われておられる死活問題については御無理ごもつともな話であって、そのことに関しては私は趣旨には賛成をさせていただきたい。要するに、この請願には賛成という立場を取らせていただきたいというふうに思います。

○委員長（金谷文則君） 続いて、治徳委員、お願ひします。

○委員（治徳義明君） 今回のような大きな計画が浮上をしたときに、地域業者の皆さんが地場産業を守ってほしいとか、また十分に配慮した対応をしてほしいと望まれること、また主張をされることは当然なことだと思っております。そして、市は、マイナスの影響またプラスの影響もあると思いますけれども、そういったことを含めて、実態を見極めながら、今後共に慎重に取り組んでいくことが必要不可欠であると考えております。

まず、このことを強く申し上げました上で、その上で今回の請願は新拠点開発全体ではなくて、外資系大型商業施設に対してのピンポイントの請願であります。この請願は少し課題点があると私は考えております。

請願でも御指摘をされているとおり、少子高齢化や過疎化が進む赤磐市にとりまして、まちづくりは重要な課題であります。私も、先ほど佐藤委員も言われましたけれども、大きな課題なんで悩みましたし、何度も何度もこの請願を読み返しさせていただきましたが、進出に当たって恐らく地場産業に対して配慮してほしいという意味だと思いますが、記載された内容を見ますと、読みようによっては来ないでほしいとの誤解されたメッセージの発信となる可能性を私は否定できないと考えます。ゆえに、今回は反対をさせていただきます。

ただし、冒頭申し上げましたように、今回の件及び新拠点計画を進める中で地場産業に配慮していく取組は当然必要なことであり、我々も重く受け止めて今後取り組んでいきたいと、こういうふうに考えております。

以上です。

結論的には反対をさせていただきます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

続いて、保田委員、お願いします。

○委員（保田 守君） 私はさっき言いましたように、この請願には反対です。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

福木副委員長、お願いします。

○副委員長（福木京子君） 私は、このコストコという名前が請願で初めて議会で出たと、ただ地元の方と話をしたら、もうそういううわさというんか、そういう話をしてるということは直接お聞きをいたしました。だからこそ、昨年9月議会で私はこのことについて一般質問をしてるんです。この商業地に外資系資本の大型スーパーが来るうわさがあるが、現在あるスーパーで十分じゃないかと、市内事業者が倒産することがあってはならないと、市民は近くで安心して買物ができることを望んでいるというふうな見出しで、赤磐市小規模企業・中小企業振興条例をつくっていると、それをきっちり市としては守っていただきたいというふうな質問もしております。

それで、今回このガソリンスタンドのこういう方、もう1年前に心配なんだということは一番に聞きました。それで、昨年9月議会で一般質問をしたところなんですけれども、内容をじっくり読ませていただきますと、本当に死活問題なんだなというふうに感じます。それでも、この業者が、地元の密着業者が市内でいろんなこの役割を持っておられるということも、この文言でよく分かりました。例えば、能登半島の災害のときに、地元の密着業者の人が頑張っておられたと、そのときに大型店は会員だけのところをされてると、そういう状況もあるんだなというふうに思いました。

だから、まちづくりについては、慎重にしていけないといけませんし、大型店が来るといううわさはありまして、一番皆心配なのは交通渋滞とか、心配がいっぱいあるわけです。そういうことが、見通しが全然語られない中で、こういう地元の業者の人が物すごく不安、そういうことを思っておられる、そういうことがよく伝わってまいりました。議会としては、地域の密着型の中小企業の人たちの生活を守るという立場でいけないといけないし、この請願はそのことがよく出ていると思います。このことについては、賛成したいと思います。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

次に、採決ということにはなるんですけども、大方の意見としては2つに割れてるというふうなふうに見えます。

すぐ採決もいいんですが、一つの案として、今佐藤委員からも少し心配事、それから治徳委員も言われておりますけども、このことについてはもう少し審査が必要だという一つのやり方として継続審査というやり方もあろうかと思えます。

こういうことについて、私から言うのも何なんですけど、このまま採決をしてよろしいかどうか皆さんにお諮りをして採決に臨みたいと思えますが、皆さんの御意見、これはあくまでも正式な問題でも何でもございません、そういうやり方もあるよということの提案でございますが、採決のほうへ臨んでもよろしいでしょうか。どうでしょう、御意見お伺いしたいと。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 実は、私は、最初からできれば継続にさせていただきたい。要するに、コストコが来る来ないについてはまだまだ一つの課題として残ってるわけなんで、その仮定の話の中で我々が判断をするということに対しては抵抗があったということと、もう一つ、先ほど申し上げましたように、死活問題を提起されておられる以上は、そのことについては賛同をさせていただくという私は考え方だったんです。ですから、私の考え方としたら、継続をしていただきたいという考え方を私は思っております。そして、我々この委員会の中で半々に割れるということに対しては、今後の議会運営、委員会運営についてもいろいろな支障も出てくることも想定されますんで、我々この請願についてはもう少し時間をかけてじっくり議論をした中で結論を出すべきではないかというふうに、私も実は委員長と同じような考え方を持っております。

○委員長（金谷文則君） いかがでございますか。

治徳委員。

○委員（治徳義明君） 私は、先ほど反対という主張をさせていただきましたんであれなんですけど、それは先ほど申し上げたとおりなんですけども、皆さんが継続審査でというんであればそれはそれで結構です。

○委員長（金谷文則君） 保田委員、いかがでございますか。

○委員（保田 守君） いい意見だと思います。

○委員長（金谷文則君） 福木副委員長、いかがでございますか。

○副委員長（福木京子君） できるだけみんなが、少しでも多くの方が賛成してくれるんがいいし、理解を広げていかないといけないと思いますので、継続という案が出てましたらそれでよろしいです。

○委員長（金谷文則君） すみません。皆さんの御意見の中じゃあなかったんですが、委員長として、今佐藤委員がおっしゃられたように、大変重要なことだと思いますので、当委員会、それからまたまちづくり調査特別委員会ということもございます、請願のほうは私どもの委員会のほうに付託をされておりますが、十分審査をして、それで結論に導いていったほうがいい

かと思いますので、私のほうからは継続審査ということについて提案をしたいと思います。そのことについて、継続審査ということで可否を取りたいと思います。

この請願第1号については継続審査ということで進めていくということに賛成の方は起立を願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

継続審査ということで全員賛成をいただきました。それでは、この請願第1号については、当委員会としましては継続審査ということにさせていただきます。

以上で当委員会に付託されました議案の審査は全て終了いたしました。

次に、閉会中の継続調査及び審査についての御確認をお願いしたいと思います。

配付しておりますとおり、議長に対し閉会中の継続調査及び審査の申出をしたいと思いますが、これでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、このように申出をしたいと思います。

次に、閉会中の委員派遣についてお諮りいたします。

閉会中の審査及び調査案件の調査のため、委員派遣を行う必要が生じた場合、議長に対し委員派遣承認要求を行うこととし、派遣委員、日時、場所、目的及び経費等の手続につきましては委員長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、そのようにさせていただきます。

なお、委員長報告につきましては委員長に一任していただきたいと思いますが、これでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それじゃあ、そのようにさせていただきます。

それでは次に、その他に入ります。

まず、令和6年度事業の補正について。

産業振興部は補正予算がございません。建設事業部から説明をしていただき、その後に質疑を行いますので、よろしく御理解のほどお願いいたします。

資料につきましては、本会議フォルダーから議案説明資料の中の補正予算説明資料を使用いたしますので、確認をお願いいたします。

なお、説明及び質疑の際は、資料のページ番号を言ってから行うようお願いをします。

それでは、執行部より説明をお願いいたします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） それでは、令和6年度事業の補正について、建設課から説明をさせていただきます。

資料は、補正予算説明資料を使わせていただきます。

それでは、補正予算説明資料の16ページ、17ページをお開きください。

8款2項3目道路新設改良費の役務費としまして、新拠点公共ゾーンにおける事業費の積算根拠とするための不動産鑑定手数料216万6,000円の増額を行う予定としております。

以上で建設課の説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

執行部の説明が終わりました。

ただいまの説明について質疑がございましたらお願いいたします。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 今回の道の駅の関係で、不動産鑑定に委ねるということなんですけど、その委ねられる不動産鑑定士については、業者指名をされるのはどういうふうな形でやられるかということについて説明いただきたいと思います。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 今のところは、基本的な考え方でいいですと、入札を考えております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 入札は何社でやられる予定でしょうか。1社指名ということにはならないでしょうね。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○総合政策部参与兼建設事業部参与（岡本和典君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡本建設事業部参与。

○総合政策部参与兼建設事業部参与（岡本和典君） 基本的には、今入札ということで御答弁申し上げましたけれども、この案件が入札に適するものかどうかということにつきましては、赤磐市の財務規則及び契約管理の管財課と調整をしながら進めさせていただきたいと考えます。

いわゆる鑑定士につきましても、何業者を指名してということについても、あわせて管財課等と調整をしながら、あるいは県内の状況を見ながら選定をさせていただきたいというふうに考えております。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 過去の例から申しあげても、今まで全て赤磐市が開発する土地については不動産鑑定士を入れて、不動産鑑定士のその評価に基づいて土地を購入するというをずっとやってきておるんです。しかしながら、市民の方々から言われますことは、非常に高いということを常に言われるんです。

要するに、民民で売買した場合には、現在の田の価格はウン十万円だろうと思うんです。しかしながら、市が買い上げるときには、何百万円という価格で田を買い上げるということになっておるんです。だから、その今言う民民での価格と市の価格は非常に差があるということを常に指摘をされております。

そういうことの中で、今回の不動産鑑定士についても、恐らく市が予測しておるような金額を不動産鑑定士は価格設定をされるのではないかなという不安も持っております。そういうところについては、心配ないということをはっきり私はこの場で執行部のほうから御提案をいただきたいというふうに思います。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○総合政策部参与兼建設事業部参与（岡本和典君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡本建設事業部参与。

○総合政策部参与兼建設事業部参与（岡本和典君） 価格につきましては、私がどう、高い安いというのは申しあげられませんが、不動産鑑定に当たっては、近隣の取引事例等を参考に算定をされるということで従来から聞いておりますので、それに倣った鑑定評価になるんであるというふうに考えております。もちろん、契約後につきましては、今委員おっしゃられたようなことも念頭に、決定した鑑定士と協議をしながら作業を進めていただくということになるかと思っております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） これは、一つうわさの話なんで私もはっきり実情はつかんでいないんですけど、既にどこかの不動産屋が土地を購入しておるというようなことも伺っております、これはうわさの話でございますけど。そういうことの中で、そういうふうな不動産の方が介入をされて、その辺の土地の売買価格について非常に地上げをしておるような状況ではないかなというふうなことがうかがえます。そういうような状況がうかがえる中で、非常にこの不動産鑑定士の方も私は困るのではないかなというふうに思うんですけど、きちっとした選任をしていただいて、適正な価格で売買をしていただきたいというふうに思うんですけど、その点についてはいかがでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○総合政策部参与兼建設事業部参与（岡本和典君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡本建設事業部参与。

○総合政策部参与兼建設事業部参与（岡本和典君） 今佐藤委員おっしゃられるのはごもっともだと思いますので、先ほどと同じ答弁にはなりますけれども、鑑定士が決定した際には、決定するにも適正な選定の仕方を心がけることになりまして、決定した後の鑑定作業に当たりましても、特定の取引にとらわれることなく、近隣の状況というものを見ながらの鑑定ということで、相談をしながら作業していただくということにさせていただけたらと思っております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 私が一番心配しておることは、例えばその今言う不動産鑑定士が今回のその周辺の土地を100万円と評価をされたと、しかしながら事前に不動産屋に売っておられる農家の方が50万円で売ったと、50万円の差があるというようなことの事象が出てきたときに、その辺の周辺の農家の方々が非常に混乱をされるというような状態が私は起きてくるのではないかなということを心配しておるんです。そういうことがないように、執行部のほうできちっと調整をしていただいて、適正な価格で売買をしていただきたいということを申し上げておるんです。その辺のことについて御意見があればお伺いしておきたいと思っております。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○総合政策部参与兼建設事業部参与（岡本和典君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡本建設事業部参与。

○総合政策部参与兼建設事業部参与（岡本和典君） 全く委員おっしゃられるとおりだと思いますので、これは鑑定士もその専門職ということでございますので、その方の意見というものを参考にしながら、市としても今佐藤委員御心配いただいているようなところについては市のほうから申入れをして、調整をさせていただきたいと思っております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員、よろしいでしょうか。

○委員（佐藤武文君） はい。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんでしょうか。

○副委員長（福木京子君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） 今、私もこの不動産鑑定のことには詳しくないんですが、この説明に道の駅を含む公共ゾーンに係る不動産鑑定経費ということなんですが、これは道の駅のあのところと、それからまた東の端や西の端、また県道じゃなくてこっちの市道、旧県道ですけど、その辺との分でどういうふうに鑑定をしていくんでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 今回不動産鑑定を予定している土地につきましては、今整備している市道岩田長尾線から東の地区の県道と旧県道の間で、河本の集落を越えたところまではしないので、その一角、新拠点の公共ゾーンといわれる区域を不動産鑑定する予定としております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） よく分からないんですが、そこを鑑定した後、範囲が広いですよ、公共、あとは民のほうなんですが、東と西と、その辺のその全体としての不動産鑑定はどいうふうになるんですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 今回の業務としましては、その公共ゾーンっていわれるとこの区域の鑑定評価ということで予定しておりますけれども、そのもっと東、河本側につきましては、また今後用地を買収することがあれば鑑定評価をまたするような形になると思っております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○副委員長（福木京子君） よろしい。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようでございますので、以上で質疑は終了といたします。

以上で令和6年度の事業の補正については終わります。

続きまして、事業の進捗状況について、資料は産業建設常任委員会フォルダー、令和6年6月、会議資料というところに格納されておりますので、御覧いただきたいと思いますが、そこの中で執行部からの説明をお願いいたします。建設事業部からの説明はございませんので、産業振興部、よろしくお願いをしたいと思います。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） それでは、産業建設常任委員会資料の3番、事業の進捗状況につ

いて農林課部分について御説明をさせていただきます。

(1)鳥獣被害防止総合支援事業です。

今年の鳥獣被害防止対策協議会において実施予定の事業でございます。

資料2ページを御覧ください。令和6年度事業計画としまして、1)「STOP鳥獣被害！集落連携事業」カラス対策事業です。

鴨前、西中地区において、鷹匠による追い払いを6月末から7月下旬にかけて10回予定しております。また、鷹匠による追い払いを補完するため、ドローンによる追い払いを7月から8月にかけて3回行う予定としております。カラス対策につきましては、令和3年度より実施しており、実施区域よりカラス被害が少なくなっているとの声が上がっており、カラス対策の効果が出ているものと考えております。

現在は協議会が主体となり事業実施をしておりますが、将来地元において自主的かつ自立的に対策を推進できるよう、現実的な体制の構築について検討を進めてまいります。

次に、2)赤磐市有害鳥獣セミナーを令和7年2月に開催予定としております。

セミナーの内容としましては、新規狩猟者向けのくくりわなの講習会、獣害対策の講演会、狩猟免許の取得説明、獣害対策商品の展示会を予定しております。本年度の講演会につきましては、新規狩猟者の確保に向けた取組として、多くの方が狩猟に興味を持っていただけるようなイベントとなるよう検討を進めているところでございます。

次に、3)捕獲おりの購入及び設置につきましては、猟友会と調整して購入する予定としております。

次に、4)被害地域専門家緊急投入事業です。

こちらは、地域住民からの農作物被害の報告に対して迅速に専門家を投入し、被害に対して最適な対策を提案する事業となっております。また、地域、行政、猟友会が連携して対策をすることで、農作物の被害の減少はもとより、地域の主体性、行政の知識、猟友会の対策技術の向上を目指すものです。

次に、資料3ページを御覧ください。

こちらは、統計資料となっております。令和5年度までの実績の御報告でございます。

①の有害鳥獣捕獲事業ですが、中ほどに記載してある①-(2)獣種別・捕獲エリア別捕獲数を御覧ください。赤磐市の地図のちょうど上部分になると思います。左から御覧いただきまして、捕獲頭数を御覧いただきますと、イノシシが1,847頭、鹿540頭、猿15頭と、主要獣種3種については御覧のような捕獲頭数となっております。イノシシ、鹿につきましては、増加傾向となっております。今後、さらに対策を進め、被害の減少に努めたいと考えております。

次に、資料4ページ上段の②防護柵設置事業を御覧ください。昨年度は、電気柵が1万3,100メートル、ワイヤーメッシュが7,426メートルの設置に対し補助を行っております。

次に、③の狩猟者確保事業ですが、下の円グラフを御覧いただきますと、狩猟者の平均年齢

は、わな猟は63.9歳、銃猟は63.8歳となっており、前年と比較して平均年齢が少し下がっております。獣害に対して防御力を維持するために、猟友会と連携し、引き続き若い世代への技術継承、担い手の確保を進めてまいりたいと考えております。

農林課からは以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

続いてお願いします。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎産業振興部参与。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） それでは、商工観光課所管部分につきまして御説明をいたします。

産業建設常任委員会資料2ページをお願いします。

3、事業の進捗状況について、(2)あかいわ創業塾につきましては、産業競争力強化法に基づきます地域における創業の促進を目的といたしまして、赤磐市創業支援等事業計画を国の認定を受けまして実施しております。

市内での創業の促進を目的に、創業を考えている人、創業5年未満の事業者を対象に、中小企業診断士や商工会職員などにより講座を実施するものでございます。最初のコースといたしまして、6月29日にプレセミナーで開幕し、7月6日から約1か月の間で経営、財務、販路、人材育成などの講座を4回開催いたします。全て受講された方に修了証を交付します。また、修了証を交付された方につきましては、赤磐市が証明書を発行することによりまして、会社設立時の登録免許税の2分の1の軽減、それから信用保証協会の信用保証枠の増大など、特例を受けることができます。

資料の5ページ、6ページにチラシを添付させていただいております。また、7ページには、平成27年度からこれまでの実績を一覧表にしておりますので、御確認いただけたらと思います。

商工観光課からは以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

執行部からの説明が終わりました。

ただいまの説明についての質疑はございませんか。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 2ページの鳥獣被害対策について1点確認をさせてください。

被害地域専門家緊急投入事業についてでございますけれども、先ほどは迅速に課題解決に向けて頑張るんだというふうな取組ですけれども、私も地域の方からこういった、恐らくこの事業を活用して、本当にすぐに来ていただいてよかったみたいなお話をお聞きしたことはありま

すけれども、これって依頼するに当たってどういうルートなんでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） 農林課のほうにお尋ねをしていただければ結構かと思います。

以上です。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） であるならば、今鳥獣被害対策をしっかりと区長会だとかいろんな形を使ってやっていますという、それでもいろんな方がいらっしゃって、そういったことになじんでない方もいらっしゃるので、できたらもう少しホームページ、私はこれはすばらしい取組だと思ってます、本当に個別に対応をしてくださって、すばらしい取組であるならば、何かあったらここに電話してくださいみたいな形をしっかりとPRすべきだと思うんですけど、どうお考えでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） ありがとうございます。しっかりPRをして、皆さんにお知らせできるように努めたいと考えます。

以上です。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） ぜひお願いします。

それと、もう一つ、事業の進捗状況の4つの項目の中にないんですけれども、捕獲後の処理と活用は現在どういうふうな状況なんでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） 食肉の場合であれば、どんぐりという業者がありまして、そちらのほうで引き取って加工してるような状況でございます。

以上です。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 私は活用とか処理、ジビエ、重要だと思うんですけれども、事業の進

捗状況の中に入れないというのはどういう、もうあまり力を入れてないという捉え方になるんですけど、どうお考えなんでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） 申し訳ございません。一応これは、予算に絡むものについて載せていただいております。次回からそちらの辺も分かるように追加をさせていただきます。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（治徳義明君） はい。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

○委員（保田 守君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 保田委員。

○委員（保田 守君） お聞きしたいのは、鷹匠による追い払い、ドローンによる追い払いという、10回と3回やるということなんですけど、この追い払った後にカラスはよその畑へ行っとなんかじゃないかという、追い払ったときによその畑へ飛んできて被害が別のところで出るという話もあるので、追跡、ちょっと手間を食うかもしれんけど、何かその対策を検討してほしいと思うんですけども、何か考えがあったらお聞きしたいと。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） 追跡という、すみません、私勉強不足で、そういった事例が他市であるのかどうか分かりませんが、調べて、そちらのほうが可能かどうかというのを検討していきたいと思います。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

保田委員。

○委員（保田 守君） 桃農家の人と昨日話をしとったら、イノシシは畑の中を歩きよって、枝を折って、荒っぽいことをすんだよと、キツネは立つようにして口でくわえて、そんなに枝を折ったりせんのかという話を聞いたんです。へえ、キツネが来るんですねということだったんですけど、キツネの被害というのは結構あるんですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） すみません、キツネ被害については、資料を持ち合わせておりませんので、回答できません。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（保田 守君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 保田委員。

○委員（保田 守君） たまたま偶然そこにキツネが来たんだとも思うんですけども、またそういう報告があったら教えてください。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） あかいわ創業塾なんですけれども、7ページの表を見ますと、合計20人が起業されてるんだと、こういうことなんですけれども、こういった業種に起業されてるか、主立ったものをお願いします。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎産業振興部参与。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） 主立ったもので申しますと、美容、理容それから建設業とあと飲食業の方が多うございます。多岐にはわたっておるような状況ではございます。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、事業の進捗状況についてはこれで終わりたいと思います。

続きまして、その他のその他に入りたいと思います。

建設事業部からお願いをします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） それでは、建設事業部のその他、4番、その他を説明させていただきます。

資料の8ページをお願いします。

4番、その他、(1)道路の陥没が起因する物損事故報告についてとなります。

発生日時は令和6年5月2日木曜日11時半頃、場所は赤磐市穂崎地内、相手方は赤磐市の男

性となっております。事故の状況は、市道を走行中に道路の陥没に落下して右側前方のタイヤが破損したもので、現在相手の方と示談交渉を行っております。

以上で建設課の説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） 今の説明につきまして質疑ございましたらお願いします。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） こういうふうな事例が年に何回か出てくるんです。要するに、市道の見守りを現在はシルバー人材センターのほうに委託をして、全てシルバー人材センターの方が見回りに行っておられるんでないかと思うんです。要するに、シルバー人材センターの見回りをされる方の見方と職員の見方というのは、私は違うと思うんです。シルバー人材センターが悪いとは言いませんけど、見方の相違によってこのような事故が起こるのではないかなというふうな考え方を持っておるんです。

昔は職員が見回りをして、レミファルト等々を持って補修をしておったというような時代もあったんですけど、今はシルバー人材センターに任せっ切りで、その管理の仕方が非常に私は悪いのではないかなと。だから、こういうふうな事故が何年たっても後を絶たないというような状況が続いておるといふふうに思えるんです。その辺は、どういうふうな状況かということについて御説明いただきたいと思います。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 佐藤委員のおっしゃられるとおりでございます、今はシルバー人材センターのほうで市内一円のパトロールを実施しているところであります。ただし、路線が多いこともありまして、1か月かけて市道を一巡するということになりますので、陥没に気づくのが遅れることも現実としては起こっております。

市の職員が移動する際などに陥没に気づいた場合などには、建設課へ御連絡いただくようお願いしているところでありますけれども、現状としまして、雨が降った後とかに穴が、陥没が起きることが多く発生してございますので、激しい雨の後などには職員のほうで気になる箇所のパトロール、確認を行うようにさせていただきたいと考えております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） もう一つは、要するになかなか気がつかない場所も多々あると思うん

です。そういうことをもう少し区長あるいは町内会長にお願いをして、区の中あるいは町内会の中を見回っていただいて、そういうふうな箇所があれば事前に早く通報していただいて、そのことについて対応するというような形を、私はやり方をもう少し多岐にわたって、シルバー人材センターだけに任すという形ではなしと、やり方を多岐にわたって見回りをしていただくというような考え方を持っていただきたいというふうに思いますけど、いかがでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） ありがとうございます。

今現在でも、区長から陥没であるとか、そういった情報提供はいただいておりますが、地区によってはそういうことのばらつきがありますので、再度区長、町内会長を通じて、そういうことがあれば情報提供いただけるお願いのほうをさせていただきます。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（佐藤武文君） はい。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それじゃあ、その他のその他の中での質疑は以上で終了をいたします。

その他、委員または執行部から何かございましたら発言をお願いいたします。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 友實市長。

○市長（友實武則君） ちょっとデリケートなことになるんで、この後の私の発言も削除でお願いしたいんですけども、よろしいでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 削除の発言ならおやめください。

○市長（友實武則君） はい。それじゃあ、事務局からまた申入れをさせていただきます。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

○副委員長（福木京子君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） その他で、実は今年3月に3つの大きな市の行事、花火大会とか祭りとか是里ワインじゃったかな、3つ、これが予算がなくて今年度は検討するんだということなんですが、今どういうふうに検討をされてるのでしょうか。

この間ある人から、業者の方です、祭りとかそういうところに出されてる方、今年はないというのを初めて知ったと、だから徹底してないんですよ、3つの行事がなくなったというの

が。それで、期待はしとっただけなんです。だけど、そういう方もおられるということで、一斉にこの3つの大きな行事がないというのは、なかなか寂しいことなんですけど、その検討を1年かけてするというふうなこともどこかで説明はされてると思うんですが、その説明の進捗状況というんですか、その辺が分かればお願いしたいと思います。

○委員長（金谷文則君） 答弁をお願いします。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎産業振興部参与。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） まず、PRの件ですが、実施しないというようなことを大々的にPRというのはなかなか難しいものですから、これまで花火大会などで協賛をいただいた企業、それからあかいわ祭りなんかで参加いただいた地域店等の方々、こういった方、関係の方々にはお知らせしていきたいと思えます。

それから、新しいイベントの検討の関係だと思えますが、こちらのほうは現在組織の立ち上げ準備中でございます。6月末頃には立ち上げができる見込みで事務を進めております。

以上です。

○副委員長（福木京子君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） 6月末ぐらいに組織ができて、どういう状況になって、結論が決まるんですけど、来年度になるんです、今年はまだ全然本当にしないということなんですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎産業振興部参与。

○産業振興部参与兼商工観光課長（大崎文裕君） 3月の予算常任委員会でも御説明させていただいたと思えますが、自主財源の確保の方法であったり、国の補助金の確保の方法であったりというようなところ、いろいろ情報収集を行ってはおりますが、なかなか該当するような補助金であるとか、これだけの自主財源が集められますよとかという具体的なことがまだ決まっておきませんので、補正予算対応なんか難しいような状況でございます。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） 他にないようでございますので、以上をもちまして産業建設常任委員会を閉会したいと思います。

閉会に当たりまして、是松産業振興部長より挨拶をお願いいたします。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 本日は、お忙しい中、大変ありがとうございました。

審査の中でいただきました様々な御意見、今後も事業推進の中で活かしてまいりたいと思います。本日は大変ありがとうございました。閉会の挨拶とさせていただきます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございました。

それでは、これで本日の委員会を閉会といたします。

大変お疲れさまでございました。

午前11時38分 閉会